

2013 年度事業報告

1. 資源のリユース・リサイクルを推進する事業

1)事業の推進

ボランティア延人数 1,989 人（前年度 2,083 人）、提供 4,774 件（5,002）、
客数 20,782 人（21,675）、総数 27,545 人（28,760）

①中田店：6,418,812 円（前年比 97%）

- ・前半は売上目標を達成できましたが、後半は衣類の売上げが低迷し、目標を達成できませんでした。これは、提供品を集めるための広報力不足と考え、次年度の課題となりました。
- ・カンボジアの子どもたちの絵の展示を契機に中田小から出前講座の依頼があり、他国との繋がりなどについて話しました。また、その後、中田小3年生の職業体験、校内での募金活動など子どもたちと WE ショップを繋げることが出来ました。
- ・11 月からスタッフ 2 人体制となり、ショップ運営が安定しました。

②領家店：5,165,815 円（前年比 105.6%）

- ・ボランティアの協力のもとに、店内の整理整頓を心がけて提供も含め新規のお客が増えました。春夏冬などのセールの売上げも向上して、毎月の売上も前年比で伸びました。
- ・今後は、ボランティアの人数を増やし、定期的にチラシまきを行っていきます。

③萩丸店 4,643,907 円（前年比 96%）

- ・ショップを見えやすくすることを心がけましたが、気候変動と立地条件の影響を受けて成果には結びつきませんでした。今後は、顧客の獲得が課題です。
- ・一方、固定客から数人がボランティアに参加することになり、少しずつボランティアの輪が広がっています。
- ・着物フェアを通して、ボランティア・お客同士で着付け教室を開催することになり、和室の陽だまりの有効利用とコミュニティーの拠点になりました。
- ・3 ショップの中で一番広いため、韓国からの市民団体の視察、企業の研修などを受け、交流を図りました。韓国市民団体の来訪時には、ボランティアさんも参加して意見交流を図りました。

【期間】 通年

【場所】 中田店、領家店、萩丸店

【対象者】 主に泉区の市民

【事業高】 15,827,330 円

2)ボランティアミーティングの開催

①中田店

3 回開催しました。提供品チラシをまくことを共有し、2000 枚まきました。また、外

税が変わるときにはレジ対応を共有し、イベント企画では合意を図りながら計画しました。

②領家店

一度に集まりにくいとため、個別対応として3回開催しました。内税から外税が変わることを理解し、お客に説明できるようにしました。また、提供品の扱いやファイバー対応について共有しました。

③萩丸店

ボランティアの人たちと地域に開かれたショップ作りを目指しました。体の弱い方の参加があり(2人)、ショップが社会とのつながりになりました。ミーティングは3回開催し、比較的新しい人が多いので、情報共有の場として機能しました。

【期間】各ショップ年3回(別紙参照)

【場所】中田店、領家店、萩丸店

【対象者】ショップボランティア 84人

2. アジア等における市民、とりわけ女性の生活の向上と自立のための活動を支援する事業

支援チームで点検評価し、運営委員会で決定しました。(詳細別紙)

また、WE21が主催するスピーキングツアーには、いずみから実行委員会に参加し、コーディネートをしました。特に、スピーキングツアースタートとして、10月4日に中川地区センターで開催しました(参加者16人、他地域からの参加者8人)。15年前、いずみが初めて支援をした事業が、発展した報告会は、参加者の共有になりました。

【期間】通年

【対象者】フィリピン、カンボジア、アフガニスタン、イラク、日本などの社会的に立場の弱い女性や子どもたち

【事業高】932,960万円

3. 地域市民の国際的な意識の自覚を促進する事業

1) キャンペーンの実施

① 貧困なくそうキャンペーン(視点:世界の貧困について学ぶ)

10月17日に実施しました。3店舗でアフガニスタンについて学ぶイベントとして、他のショップから子どものマネキンを借りて衣装を展示し、またJVCアフガニスタンのスタッフと共に、民族衣装の試着、映像、ナンづくりなどを通して、地域の人たちに世界の構造や貧困について学ぶ機会を作りました。また、当日の売上と1か月の店頭募金を支援しました。17日は、ショップの前を通る人に対しても声をかけ、呼び込みました。

【期間】10月

【場所】中田店、領家店、萩丸店

【対象者】主に泉区の市民

【事業高】92,588円

② 東日本震災キャンペーン(視点:震災・津波・原発被害を知る)

3年目の3月11日は、チラシを配布し、また店内にキャンペーンを告知するなど事前に

働きかけました。その結果、日頃よりも売り上げもよく、支援に繋がるためにわざわざ来店した人たちも見られました。支援金は、福島の子どもたちの保養事業に充てます。

【期間】 3月

【場所】 中田店、領家店、萩丸店

【対象者】 主に泉区の市民

【事業高】 100,500円

- ③愛のチョコキャンペーン（視点：放射能などを含めた核と子どもの影響について知る）
今年度は昨年の特検評価もあり、100個の販売に留めました。少々マンネリ的になってきた傾向があるので、次年度は対策が必要です。

【期間】 1～2月

【場所】 中田店、領家店、萩丸店

【対象者】 主に泉区の市民

【事業高】 50,000円

- ④フィリピン台風被害緊急支援キャンペーン

大型台風の被害により、フィリピンの状況はますます悪化したため、緊急募金のキャンペーンを実施し、草の根援助運動に寄付しました。

【期間】 11月～12月

【場所】 中田店、領家店、萩丸店

【対象者】 主に泉区の市民

【事業高】 100,000円（募金 62,796円、支援金 37,204円）

2) 講座の開催

支援先の情報を共有するために、報告会を開催しました。

*バングラデシュの報告（ジュマネット）5月25日

*カンボジア環境教育報告（JVC）6月21日

*アフガニスタン学習会（JVC）9月30日

【期間】 5月25日、6月21日、9月30日

【場所】 萩丸店「陽だまり」

【対象者】 会員及びボランティア 43人

【事業高】 5000円

3) スタディツアーの参加

- ①いわき市援農ツアー参加（5人）

2年が過ぎても復興には程遠い被災地です。忘れないためにも福島県いわき市の援農に参加（主催：WE21 ジャパン）しました。

【期間】 8月1日

【場所】 福島県いわき市

【対象者】 会員及びボランティア 5人

【事業高】 15,000円

4) 招聘事業

①協定を結んでいる韓国の慶尚南道の地域自活センターが WE21 の 15 周年記念に参加のため来日しました。その時に、バス料金を支援して来日の行程をコーディネートし、WE21 との協定に結びました。

【期間】 11 月 29 日～12 月 2 日

【場所】 泉区内

【対象者】 韓国・慶尚南道の地域自活センター関係者 13 人

【事業高】 160,011 円

また、1 月には有志が訪韓し、相互の交流は深まりました。

【期間】 1 月 11 日～14 日

【場所】 韓国、慶尚南道

【対象者】 会員及びボランティア 7 人

②南南交流ツアー実施・参加

昨年 2 月のカンボジアスタディーツアーから、子どもたちの絵の交流、そしてスタッフの交流を図る南南事業を他の地域と企画し、実施しました。人材育成とネットワークを図るこの事業は、今後の活動の発展に寄与できると確信しました。

【期間】 2 月 2 日～8 日

【場所】 フィリピン、北ルソン地方ベンゲット州

【対象者】 カンボジア JVC スタッフ 2 人

【事業高】 50,000 円

4. 事業の広報普及を図る事業

1) ショップちらしや広報紙「いずみニュース」を 3 回発行し、活動を共有しました。

2) 認定 NPO 取得後は、HP に組織、定款、会計を情報開示するために、HP の充実を図りました。

【期間】 通年

【場所】 主に泉区内

【対象者】 会員及び一般市民

【事業高】 2,776 円